

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 音楽 (器楽合奏)

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
取 扱 内 容  〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 ・ 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	教出 (教育出版)	751
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	○教材は「曲想と音楽の構造との関わり」を基盤とした選択が意図され、基本的な奏法を身に付けるように系統性が考えられており、さらに生徒や学校の実態に応じて選択できるような特色がある。  ○リコーダーはアルト及び、ソプラノを用い、どちらでも学習ができるように配慮され、基礎的な奏法を楽しみながら身に付けられるようになっている。  ○ギターを扱い、左手の使い方を写真やウェブサイト「まなびリンク」で分かりやすく提示し、基本的な奏法を身に付けられるように配慮されている。  ○和楽器については、「篠笛」「尺八」「箏」「三味線」「太鼓」を扱い、奏法を身に付けるとともに、生活と社会との関連を図った教材を掲載している。	○全体の構成は、「演奏の仕方を身に付けよう」「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」の三群で構成され、カリキュラム・マネジメントに応じて柔軟に教材を選択できるようになっている。  ○多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動を多数掲載し、基本的な奏法を生かし他者との協働で表現を工夫することから、主体的・対話的な学びが展開できるような特色がある。  ○内容の分量については、総ページ数99、前回と同様となっている。
使 用 上 の 配 慮 等	○学びに集中できるレイアウトや配色 (カラーユニバーサルデザイン) 見やすく読みやすい文字 (ユニバーサルフォント) など細部にわたり配慮がなされている。  ○生徒の「合わせて演奏しよう」は、Let's Play! の項目で学習のねらいに即した多様なアンサンブル活動に取り組めるようになっている。  ○弦楽器を聞き比べる活動を取り入れるなど、生徒の興味関心を高めるようになっている。	
そ の 他		

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 音楽 (器楽合奏)

番号 観点	発行者略称	教科書番号
取 扱 内 容  〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 ・ 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	教芸 (教育芸術社)	752
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	○教材は様々なアンサンブル活動を通して、協働しながら進められるほか、我が国の伝統的な音楽や諸外国の音楽に対する理解を深められるよう、様々な楽器や楽曲を取り上げている。  ○リコーダーはアルト及びソプラノを用い、どちらでも学習ができるように配慮され、基礎的な奏法の他に「パートの役割」、「曲の構成」などについても学びが展開できるような特徴がある。  ○ギターを扱い、基本的な奏法を身に付けられるように配慮されているだけでなく、ギターの種類についても説明があり、生徒の興味関心を高めるようになっている。  ○和楽器については、「篠笛」「尺八」「箏」「三味線」「太鼓」を扱い、楽器の奏法に関することだけでなく、姿勢や礼儀などについてコラムを掲載され、適切に配慮されている。また和楽器を用いた平易なアンサンブル曲や生徒にとって親しみやすい曲が取り上げられている。	○小学校で身に付けたことや、音色などの基礎的な学習内容を確認し、繰り返し学習できるようになっている。  ○各楽器がバランスよく取り上げられており、それらを用いた楽曲についても過不足なく扱われている。また様々な楽器編成に対応できるようになっている。  ○内容の分量については総ページ数107、前回よりも20%増となっている。
使 用 上 の 配 慮 等	○演奏家の写真やメッセージなどが豊富に掲載され、楽器への興味・感心・意欲を高めるために極めて適切な内容となっている。  ○生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、学習に必要な情報を明確に示すなどの特徴がある。  ○「深めよう！音楽」では、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して器楽の学習を深めることができるようになっている。	
そ の 他		